

新狭山ハイツからのメッセージ

ハイツは“素敵に高齢するまち”をモットーにコミュニティづくりをしています
ハイツに住んで、素敵な家族・コミュニティを育ててみませんか

新狭山ハイツのプロフィール

- 昭和48・49年に建設されたPC構造の5階建、32棟、770戸から構成されています。
- 717世帯、1,429人が住んでいます。
(住民基本台帳：平成25年1月1日現在)
- 市街化調整区域内にあり、周辺にはたおやかな田園風景が広がっています。



空から見た緑豊かなハイツ

新狭山ハイツの魅力

<緑豊かな住環境が自慢です>

●四季彩り豊かで、緑や花が絵になる団地です

- ハイツの緑は昭和50年以降、“緑の倍増”をスローガンに住民の手で増やし・育ててきたものです。この活動で内閣総理大臣表彰や緑の都市賞（建設大臣賞）など、国・県・市から8つの表彰や受賞を受けています。
- 緑を倍増した後も殺風景な街かどを花壇付の美しい広場に改修したり、花壇を増やしたりするなど、環境改善活動にも積極的に取り組んできました。
- ハイツの木・花はハナミズキです。この花は花も実も美しくしかも花が上向きに咲くので中層の建物から眺めやすいことが選ばれた理由です。
- 周辺には美しい雑木林が広がり、カッコウやコジュケイなどの野鳥の声が聞こえます。団地にも多様な野鳥が飛来します。

●環境にやさしい団地です

- 調整池の奥には住民の手で自力建設した、生き物とのふれあい・人と人とのふれあいをモットーとしたビオトープ（わくわく自然園）があります。園内では、野の花、水鳥、トンボや蝶、水棲昆虫などとの出会いが楽しめます。
- 集合住宅では全国でも珍しい生ごみのリサイクルに取り組んでいます。登録すると6時～22時の間いつでも生ごみを投入でき便利です。生ごみは生ごみ処理機で処理され、有機堆肥（愛称「野肥太（のびた）くん」）が生成されます。
- 古紙・古布は寿会と子供会育成会により、アルミ缶はリサイクルの会により集団回収されています。



ハイツの木・花「ハナミズキ」



環境改善された花壇付まちかど広場



わくわく自然園で生き物とふれあう子供達

<住み心地の良い団地です>

●安心・安全な団地です

- ・通学時児童見守り活動、路上駐車パトロールをしています。
- ・防災倉庫が設置され、自衛防災隊が組織されています。
- ・広域避難場所は徒歩5分の小学校にあります。

●交通・情報アクセスに便利な団地です

- ・最寄りの西武新宿線新狭山駅からはバスが運行されている他、循環バス「茶の花号」が運行。しかし、運行状況が余り良くなく、関係機関に改善を呼びかけることにしています。
- ・団地や隣接地に多くの駐車場があり駐車場確保も容易です。
- ・光ケーブルが導入されており、Bフレッツなどインターネットへの接続が便利です。
- ・アンテナなしで狭山ケーブルテレビを通じて衛星放送など各種放送が楽しめますし、地上デジタル放送も視聴できます。

●コミュニティ活動がとて活発な団地です

- ・自治会と管理組合が核になり、様々な団体が緩やかに連携しながら活動に取り組み、コミュニティを育てています。
- ・四季折々、関係団体により催しが開催されています。なかでも自治会主催の夏祭りはハイライトで2日間にわたって開催されます。単に盆踊りだけでなく、舞台を使った各種催しが大きな特色で、こうした夏祭りは市内でハイツだけです。
- ・自治会広報紙として「はいつニュース」が毎月発行され、全世帯に配布しています。
- ・秩父の荒川村（現在秩父市）と20数年にわたり交流をしています。そば・りんご・桜などを介して交流を育てています。



通学時の見守り活動



櫓+舞台が主役の2日間の夏祭り



満開の桜を見ながら花見の宴



楽農クラブの農場でサツマイモ掘体験



もう20年近く続いている「まるた寄席」

開催月	開催行事	開催主体
4月	新1年生歓迎会 花見の宴 春を楽しむイベント	子供会育成会 自治会・まるたの会・花水木会 NPO（緑化本部）
5月	関係団体懇親会 大人のためのお話し	自治会 あおやぎ文庫
6月	ジャガイモ掘り	NPO（楽農クラブ）
7月	はいつ夏祭り（2日間）	自治会&関係団体
8月	ピオトープたんけん ラジオ体操	NPO（わくわく自然園） 子供会育成会
9月	敬老会 さんまパーティ	自治会 まるたの会
10月	手作り作品展（隔年） サツマイモ掘り まるた寄席 地区体育祭	NPO（事務局、隔年開催） NPO（楽農クラブ） まるたの会 自治会
11月	荒川新そば祭り・りんご狩り	秩父・荒川交流実行委員会
12月	クリスマスツリー&ツリーイルミネーション クリスマス会 もちつき大会	自治会&NPO（緑化本部） 子供会育成会、あおやぎ文庫 まるたの会&花水木会
1月	新春賀詞交歓会	自治会
3月	弁財天祭り 6年生を送る会	地域の祭りに自治会協賛 子供会育成会

<子育て世代・高齢者世代にやさしい団地です>

●のびのび子育てができる団地です

- ・小学校、中学校、保育園は徒歩5～10分のところにあり、幼稚園は送迎バスがあります。
- ・身近に子どもの遊び場があり、周辺には緑豊かな雑木林が広がっています。
- ・団地内に子どもの図書館「あおやぎ文庫」があります。
- ・子育て中の母親たちが集う「たまごルーム」があります。

●高齢者に住みやすい団地です

- ・高齢者のふれあいの場として、寿会、青空サロン、福祉の会・風見どり、花水木会など、いろいろあります。
- ・高齢者の暮らしを支える「たすけあいの輪（有償生活支援サービス）」があります。
- ・近くにサービス施設「あすなる」や高齢者がのんびり過ごせる福祉施設「寿荘」があります。

●素敵な郊外の暮らしが楽しめます

- ・周辺には貸農園がたくさんあります。1区画20坪単位で年間利用料1万円程度が相場。安心・安全な野菜を自給したい、野菜作りを子供たちと楽しみたい、そんな人たちで賑わっています。郊外ならではのこんな暮らしはいかがですか。



3世代が交流する青空サロン



貸農園で楽農にいそしむ人々

<共有財産の管理がしっかりしています>

●将来ビジョンをもって共有財産を管理しています

- ・月1回の理事会、年1回の総会で管理組合はスムーズに運営されています。
- ・現在の修繕積立金のままで築70年以上を住み続けるための長期修繕計画を策定しています。この計画は、専門家で構成する中期修繕委員会により計画管理されています。

●建替えせずに長寿命化をめざしています

- ・長寿命化を具現化するため、平成23年5月に竣工した第3回大規模修繕工事では施工品質に徹底的にこだわり、保証期間を大幅に延長することを可能にしました。例えば、シーリング等の防水工事（5年を15年）、躯体補修（5～10年を15年）、内外壁塗装（5年を15年）など。
- ・平成20年9月、ハイツがNHKの「ご近所の底力」で取り上げられました。建替えか修繕かに悩むマンションに判断材料を与えることが目的の番組。ハイツは建替えを急がず、賢く修繕しながら住み続ける団地として紹介されました。結果は修繕支持が建替え支持を上回ったので、ハイツの取り組みが大いに参考になったようです。

●耐震性の高い団地です

- ・ハイツの近くに弥生時代の遺跡が2か所あり、古くから人が住んでいたところですし、団地はゆるやかな起伏のある丘陵地を造成したので地盤は良いようです。
- ・建物は旧建築基準法で建てられていますがPC構造の建物なので耐震性は高いようです。阪神淡路大震災ではこのタイプの建物は1棟も倒壊しておらず、研究レポート『被災時におけるマンションの被害軽減と復興の円滑化方策に関する研究（18年度）』（国土技術政策総合研究所）にも「中層のRC造・壁式構造・PC工法のものは壁量が多いため、旧耐震基準のものでも一般的に耐震性は高い。」と書かれています。



品質にこだわった大規模修繕工事が注目



NHKの「ご近所の底力」に登場

<団地発NPOがコミュニティづくりを支援しています>

●「新生ハイツ35年プランづくりとその推進」に取り組んでいます

- 平成15年4月、それまで環境に関わる活動していた諸団体がゆるやかに連携し、“安心して楽しく住み続けられる街・コミュニティづくりを支援したい”と「NPO法人グリーンオフィスさやま（愛称：NPOじおす）を立ち上げました。現在、約100名余りの会員の支援を得ながら、13余りの事業に取り組んでいます。詳しくは下記のホームページをご覧ください。
- このNPOが平成23年度から埼玉県補助事業・地域課題解決型協働事業を活用し、「新生ハイツ35年プランづくりとその推進」に取り組んでいます。新狭山ハイツでは高齢化とそれに伴う人口減少が進んでいます。この悩ましい状況を少しでも改善し、少なくともこれからの35年間、“素敵に加齢するコミュニティであり続けたい”と企画したものです。特に若い世代の入居を促していきたいと考えています。既に幾つかの事業が動き始まっていますのでご紹介します。

●集会所でコミュニティ・カフェ「ココベリー」を運営

- 毎月第1と第3木曜日に団地の集会所でコミカフェ「ココベリー」を開店しています。このカフェは若いママさんグループとシニアグループがコラボレーションして運営されています。
- お店ではコーヒー、紅茶、お茶などの飲物の他、かぼちゃのポタージュスープ、カレーライス（サラダ付き）、ホットサンドもあります。また、とりたての野菜や手作りパン・お菓子なども販売しています。
- 居心地の良いカフェですので、情報交換、ふれあい、憩いの場として、お気軽にご利用ください。また、関わってみたいと思われる方はご連絡ください。



居心地の良いコミカフェ「ココベリー」

●ブックスタートに着手

- NPOじおすとあおやぎ文庫の共催で、赤ちゃん（1歳半迄）と保護者に絵本を贈る「ブックスタート事業」に着手しました。
- ブックスタートは1992年にイギリスで始まった事業で、赤ちゃんに絵本を開く楽しい体験と一緒に、絵本を渡す活動です。赤ちゃんにとって大好きな人に本を読んでもらう時間は、自分が大切にされ愛されていることを知り、喜びを感じるかけがえのない時間なのです。
- 毎年、該当者を募集しますので、ぜひご利用ください。



ブックスタートで子育て世代を応援

●里親制度によるふれあい花壇の整備に着手

- ハイツの環境をより魅力的なものにするためガーデニングの手法を用いた「ふれあい花壇」づくりを進めることにしています。既に23号棟東側の花壇でその試みが始まっています。続いて14号棟南側角地の花壇で始めます。
- ガーデニングがお好きな方（里親）を公募し、維持管理をしていただくことにしています。ご関心のある方は、ぜひご参加ください。



ガーデニングの手法による花壇づくり

●作成者・問合せ先

NPO法人グリーンオフィスさやま
〒350-1301 狭山市青柳63-31-102(毛塚宅)
電話&FAX：04-2954-2265
携帯電話：090-3962-3840
Email：momo.kezuka@nifty.com

●ハイツ自治会・管理組合法人に関する問合せ先
〒350-1301 狭山市青柳63 管理事務所内
電話：04-2954-1858

NPOやハイツの情報はホームページをご覧ください
<http://www.go-sayama.net>

※このチラシは「埼玉県NPO基金による地域課題解決型協働事業」を活用（平成25年2月）